

代表3者による自費診療についての特別対談

自費診療のすべてが TOCに集結。 これからは自費診療が 当たり前前の時代に？

2021年10月16日(土)、17日(日)、
五反田TOCで開催される

「自費研フェスティバル2021」(以下、自費研フェス)。

今年と同日の同会場で「A4M国際学会日本会議2021」

および「日本オーソモレキュラー医学会第3回総会」が

開催されることになりました。

その経緯とイベントの見どころを、

各団体の代表のお三方に伺いました。

同日に開催することに
なったきっかけ

——まずは、各団体の概要を教えてください。

柳澤厚生先生(以下、柳澤)：一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会(以下、J.S.O.M)は、点滴をはじめとした栄養

療法で健康を目指す学会として2017年に設立されました。

小川智也先生(以下、小川)：Vantage株式会社は、再生医療ソリューションの提供や、A4M(The American Academy of Anti-Aging Medicine)のフィシャルパートナーとして日本での普及活動、海外医療機関・人材連携事業を行っています。2020年に創立したばかりですが、母体であるMRT株式会社は、約26万名もの医療関係者ネットワークを有しています。



小川智也先生
MRT株式会社およびVantage株式会社 代表取締役社長
CEO、救急科専門医、日本抗加齢医学会専門医。

柳澤厚生先生
国際オーソモレキュラー医学会会長、日本オーソモレキュラー医学会代表理事、点滴療法研究会会長、鎌倉元気クリニック名誉院長、米國心臓学会フェロー

佐々木威人
株式会社SSFホールディングスおよび自費研株式会社 代表取締役社長。



佐々木威人(以下、佐々木)：自費研株式会社は「自費研online」をはじめとしたメディア運営のほか、13年ほど前からセミナー活動を始めました。セミナーは徐々に大型化し、フェス、という形になって今年で3回目を迎えます。

——今回、共同開催することになったきっかけは何でしょうか。

佐々木：自費研フェスでよりアカデミックなコンテンツを提供するため、しっかりととしたコンテンツをお持ちの学会様と一緒に実施したいと考え、私から共同開催を提案したのがはじまりです。

柳澤：前回の自費研フェスの際に、

J.S.O.Mの講演ブースを設置してもらうなど、もともと関係性はありました。3団体とも自費診療やアンチエイジング分野を扱っているのはもちろん、求めている知識や商品などにも共通したところがあります。さらに、「もっと多領域のことを知りたい」という意欲のある先生が多い。ならば、新しい発見や情報収集が一度にできる、1度で3度美味しい場、を提供することは、先生方にもメリットが大きいと考えて共催に賛同しました。

小川：私も同じです。海外の学会は、日本の先生方にとってあまり馴染みがな

いと思うので、2団体と一緒することで普及につながるのではと期待しました。——準備進行において、問題などはありませんでしたか？

小川：開催自体は二つ返事でしたし、具体的な内容もスピードに決められていると思います。

佐々木：3団体が同じコンテンツ内容にならないための調整や、ご来場の皆さまがJ.S.O.MやA4Mにご興味を持って、勉強したいと思うてくださるような仕組み作りに入りました。3団体とも協力的で、風通しの良いチームワークが築けていると感じます。